

■家庭ごみ有料化に関するアンケート調査集計表

1. 校下・地区町会連合会長として「家庭ごみ有料化」について、
 どうか。

10月21日
 回答数

集計	46
☐ 賛成である	2
☐ 条件を整えば賛成する	30
☐ 分からない（判断できない）	3
☐ 反対であるが諸般の事情からやむを得ない	6
☐ 反対である	5
	46

2. 1の回答理由。

3. 町会単位の市説明会の実施状況

校下・地区町会数 _____ 町会

説明会実施済み町会 _____ 町会

今後の予定 その他実施状況について特記すべき事項が
 あればご記入ください。

4. 市は、これまでの町会説明会等での主な意見や市の考え方について
 中間的なとりまとめを行っているが、ご意見・ご提言や要望などを
 お聞かせください。

- ① 有料化制度全般に関して ② 有料化の対象・負担軽減措置に関して
 ③ 不適正排出・不法投棄対策に関して ④ 指定ごみ袋に関して
 ⑤ 制度に対する理解の促進に関して ⑥ 手数料の使途に関して
 ⑦ 有料化制度の導入に合わせた減量・資源化対策に関して
 そのほか全般に関して

	2 ごみ出しのマナーは現在も守られていないなかで「市の考え方」の回答では違反ごみの 取り扱いに衛生上の問題や町会に負担がかかるので細部にわたっての話し合い、対応 の理解が必要。 ごみ袋に単価を安くし町会への助成を明確にしてほしい。 4 ①資源の活用や分別、減量化の意識は高まっていると思う。結論的に取り組む時期が きているのではないか。 ③マナーを守らない人は現在もいるので、違反シールを貼って、残された場合、家の前 道路上で生ごみの腐敗や匂い等衛生上また近辺の人に迷惑がかかる。 残された場合は町会に負担がかかるので、細部にわたっての話し合い、合意が必要。 ④指定ごみ袋の単価を安くできればと思う。 ⑤アパート、マンション、通りがかりの人が分別や指定ごみ袋を使用しないときの指導 は難しい。特に外国人の場合も。 ⑥手数料の使途は各校下、町会へ見えるかたちでの補助を考えてほしい。 ⑦古紙ダンボール等が出された場合、町会で管理して資源回収に出すため、保管 場所の確保に向けて積極的に援助をお願いし、町全体で取り組んでいくように。
	2 有料化は時代の流れだと思う。ただ、そのためには混乱なく実施できる体制づくりが 必要。 4 ①有料化による「ごみの減量」と「資源化」は別問題である。有料化により、ごみは 一定減ることは考えられるが、資源化が増えるかは疑問。 資源化率が「金沢市は中核市で最低ランク」とされるのは原因がある。 数年前、西部クリーンセンターに新焼却炉が完成した折、従来は「資源ごみ」として 出されていたものが「燃やすごみ」に区分変更され、自ずと資源ごみが減っていった 経緯がある。 市政のごみ行政の失敗であり、果たして有料化で資源ごみを増やせるか甚だ疑問。 ③職員が市内全てのごみステーションを巡回しカバーするのは不可能。これまでどお り町会で当番制を設け、違反ごみに目を光らせるしかない。市ではただ違反シールを 貼って終わりにするのではなく①違反ごみでも一定の周知期間を設け、その間は

	回収する ②啓発のため違反ごみはいったんステーションに残すが後日別途回収する———のどちらかの施策を望む。
	2 諸般の状況を鑑み、時代の流れであると思うが、市民への経済負担、労力、不法投棄等十分検討が求められる。 また、市政への行政改革、職員定数のあり方等も検討することも大事である。 3 状況に応じて説明会の実施を考えて行きたい。 4 ⑤導入にあたっては、市民の理解とごみの排出指導として、1年間町内会に指導員を委嘱して万全な体制を図る。 ⑥手数料収入は、町会等が行う環境活動、防犯活動への支援強化策等に積極的に活用してほしい。 ⑦現行では燃えるごみに、新聞、古着、ダンボール、食材用皿(プラスチック)等を排出しているが、市電回収方法に改善する。 高齢者時代に向けて、ごみの出し方、ごみ袋等高齢者への負担軽減に一層改善と改良に努める。
	2 分別を積極的に実施してもらうように、広報、対策を考えてほしい。 具体的にはごみの分別意識、家庭への無駄なごみの持ち帰り、無意識な過剰包装への意識などが考えられる。 条件とは、1紙資源の徹底した回収システムを構築してほしい 2有料化での負担金収入は、ごみ関係以外用途に使用しないでほしい。(ごみ収入に関係する資金、ごみ処理場建設資金など) 3実施後に数年経つと、リバウンドの恐れがありますので長期的対策を考えてほしい。 3 2月までに10町会が実施予定または検討中です。 4 ①事業系のごみ収集費を値上げできるか検討してほしい。 ②-1生活保護世帯など貧困家庭には有料ごみ袋をできるだけ抑制した枚数で無償配布(民生委員等と介在して) ②-2高齢者世帯のごみ出しに、金沢市社会福祉協議会が一部校下で実施、検討している「地域安心支えあい事業」に支援が出来ないか。(環境局では一部地域で「ふれあい収集」導入のを検討しているようだが、現状を聞きたい。 ③実施後2年間ほどは徹底した監視体制にできるような方策を考えること。 ④-1お試し期間を設けてはどうか。④-2ごみ袋は親しみ易いデザインを考えてほしい。 ⑤説明期間が過ぎても町会、各種団体から要望があれば丁寧に説明が望ましい。 ⑥アンケートの1のとおり。 ⑦-1減量化は家庭だけではできないことも多いので、商品の流通とそれに伴う包装形態など、多岐にわたり研究や検討課題としてほしい。 ⑦-2剪定ごみ、畑ごみなどについても、処理方法や収集方法も検討課題が必要である。 ⑦-3資源化については、紙類が大きな問題ですが、地区町会だけではなく、事務所、商店街などでも分別を積極的に実施してもらえよう、広報、対策を考えてほしい。
	2 町会長44人、理事15人の意見を聞いていないから。 3 各単位町会で説明の実施状況をつかめない。 4 市の考え方については了解しましたが、当校下では町会長、理事(5ブロックあり1ブロック2名)の考え方意見は聞いていない。
	2 有料化についての地域への説明が後回しになったようだ。準備を十分整えて進めていけばごみ問題に必ずプラスになると思います。 3 市民全員で取り組むことが大切だと思います。
	2 市の意向なら仕方ないという感じ。ただ、有料化で生じるトラブルを町会に処理をと言われても困る。市で全て対応するという気概で実施すべきである。 3 11月1日に3町会合同であります。 4 ③違反ごみはボランティア袋に入れるということだが、誰が持っているのか。との問いに、市職員は「ボランティア袋は町会長に預ける。違反ごみについては市職員が巡回した時に見つけたら袋に入れることもします。」とありましたが、しなかったらどうするのか。すべて町会長に任されても困る。 ④全体的に袋の値段をもっと下げるべきという意見が多い。それと小松市のように独自の対策がどうして採れないのか疑問という意見もありました。 ⑥町会の街路灯の補助に使用することに反対という明確な意見の町会長もいます。 ⑦有料化制度の導入に合わせた減量・資源化対策の強化と市民サービスの向上 コンポストのごみができあがったとき集積場に持っていくのは、高齢者には負担。 月2回の資源ごみに出せる対策をという質問に、市職員は「ほがらか村のほか、近江町の成瀬花店です」という回答でしたが、近江町まで持っていけというのですか。 市民に手数料を徴収するならそれ以上に市民サービスの機会を行政がつからないと

資源化にはつながりません。

要望として有料化が決定した場合、町会として違反ごみのために早朝から立ち番が必要になると思われますが、市職員が立ち会って地域住民の負担の大きさ、現状の把握をして行政に反映してほしいとの要望がありました。

その際担当者は、市職員が立ち会いますと明言されましたので、ぜひ実現願います。金沢市は「金沢方式」という独自のコミュニティ方式を採用しています。それは、一口で言うと地元負担を求めているということです。その負担は突き詰めると町会費でありさらに一戸あたりの町費につながります。

当校下のいくつかの町会では、町会連合会への負担金(金沢方式による地域各種団体運営費)に堪えられないという声があります。それは、住民が減収していることと高齢化していることが大きい訳です。経済的負担と町民としての負担が大きくなっているということです。

そこにゴミの手数料有料化が加わります。一戸月額300円の町費の町会では、そこに毎月ゴミ手数料として何百円が永久的に加算されます。これは、明らかに経済負担が増すということです。市は年額4~5千円程度といっていますが、いままで負担が無かった分、増えるということは、町費が高いという町会にとって「ゴミは市が決めたから仕方がないが、町費の負担はつらい」という声が大きくなれば、結果的にこれまで培われてきた「金沢方式」の根本にかかわってくるような気がします。

単にゴミの問題ではなく、金沢のコミュニティの問題にかかわっていることを申し添えます。

また、町田市では有料化に伴いこれまでのステーション方式から戸方式に変わりました。住民票の交付のように手数料を市が徴収するなら領収書を出すはずですが。

それをスーパーの有料ゴミ袋の領収書でというかもしれませんが、市民からするとそれは有料袋という手段を買ったことだけです。市はその代わりに収集日にはゴミを収集しましたとそれぞれの市民に対して見せなければなりません。その一番の証明がほしかった。戸別収集だと思います。要は、昔のゴミ箱の復権です。必要なら私の町会で一軒ずつゴミポリ容器を支給してもと思っています。ステーションを廃止すると収集経費がかかると言いますが、それは市の理屈。ゴミの減量化が目的の有料化ですから、市民に分かりやすく徹底するならステーションを止めて戸別収集にすべきです、そうすると町会への負担もなくなります。

2 町会ごとの集会でいろいろの意見が出ているので、その条件が整えば賛成である。

4 別紙中間とりまとめを市民にしらしめないのか？市の考えを知らせてほしい。

3 町会回覧でいいという町会が多数でした。

4 まだ意見がまとまりません。

2 有料のゴミ袋を活用すれば、ゴミの減量、資源化が図れると短絡的に考えているとすれば、「風が吹けば桶屋が儲かる」的な思考ではないか。

減量化、資源化を十分説明し、その結果有料化に続くのであればやむを得ない。途中過程が一般市民に理解されているとは言えないのではないと思う。

3 地区の町連としては、市の要望として説明会を開いたが、以降町連として同様の会は、考えていない。

市と地域の直接の話し合いにより、理解を求めるべきだと考える。

各町連には、それぞれの事情があるので、全てを網羅して合同で行うの難しい。

4 ①高齢化の現状を考えると、将来の戸別収集は避けられず特別会計として負担金の増はやむを得ない。

②有料無料を明確に広報するとともに古紙ダンボール等も可として高齢者のステーションまでの搬送が困難な場合の特例を認める。

③不適切、不法な排出投棄、特に通勤途上のポイ捨て、期日の間違い等によるゴミは、「無料のボランティア清掃ゴミ袋を活用」とするが、だれが処置するのか。注意喚起や直接指導を記してあるが広報だけでこれらが解決するのか。

④各家庭にある45リットルの半透明ゴミ袋にも過渡的な対応として、記名入りの有料ラベル貼付などで猶予期間を持てないか。

⑤不動産業者や自営アパートの曖昧な判断等や外国人の学生、労働者への対応の不十分さによる無分別に対する指導はもめ事になりやすいので市の指導を願う。

⑦容器包装プラスチックなどの資源の再利用は大いに推進すべきだが、分別について今以上のPRや指導をお願いしたい。

その他 ステーション管理は町会に委任されていても、町会未加入者も市民の権利としてゴミを出すし、立ち会い当番も拒否するのでもめ事が起きるがこれに対する対応方法はするのか。

各団体との協議は必要だが、全ては個人の手による「ふれあい収集」となるとその人員はどうするのか。また、社協は組織であり人的、実践力は乏しいし民児協も高齢化が進みなり手が少ないうえ担当範囲の福祉的生活状況を把握することで精一杯である。

		検討とするとあるが結局どうするのか。地元への押しつけは絶対避けねばならないと考える。
	2	市政一般の町会負担金が減れば条件可。
	4	ごみ有料化が真に減量、資源化につながるのかは疑問だ。減量、資源化の努力は市民個々が今までやってきていて、一部の人達やアパート暮らしの若者が守れないなら、今回のような説明会や新聞等の広報で周知徹底すれば、ある程度の成果を得られると思う。どうしても有料化をというなら、削減された経費と有料化によって得られる収入の使途は明確にするべきだ。 ごみ有料化は税金の二重取りとの批判を聞くが、金沢方式を採っているこの金沢では、三重取りの感は免れない。これを払拭するためにも市民への還元も考えるべきだ。
	2	ゴミステーション管理費等(について)金銭を要求する条件。金沢方式の負担を軽減することを条件とする。
	3	本格的な有料化案が提示された時に、また説明会を実施したい。
	4	⑥手数料の使途に関して、町連として金沢方式の負担軽減を条件提示していただきたい。その負担軽減策を住民に提示して、有料化の賛否を決してみたい。
	※	このアンケート結果を集計して、町連で条件提示案を作成していただきたい。
	2	当地区では特に高齢者の一人暮らしの方が多いので、そういう方も安心できる方法でごみ出し(近場である、交通量が少ない)、ステーションの位置であったり、日時等の条件が整えば賛成。
	3	地区全体で説明会を実施、また、町会単位でも公民館等で実施したと聞いている。
	4	特別新しい意見はありません。
	※	提案あり この提案の採用が条件に賛成。
	2	現在当番制であり、不法者(不適正排出者)に対する処理方法等の条件次第である。
	4	全町民の意見として、(不適正排出者に対する)処置方法が早く確定してほしいとの意見があります。
	2	有料化の前に、今月の資源物の回収日のように、ダンボール、新聞紙、雑誌、の出す日をつくれれば、家庭ごみ回収も2割は減量になると思うので、一年間ほどテストをすればと思います。
	3	その他の町会の件は聞いていません。
	4	有料化を実施するときは、金沢市民の声を選挙をして決めてほしいと思います。
	2	一人世帯または高齢者夫婦と一般家庭とは、出すごみの量が違い、現状はいずれも無償なのは不公平に感じ、出す量によって段階的な有料化には公平感がある。
	3	一町会では納得できる回答が得られず、もう一度さらに説明会を要請したがその後の成り行きは聞いていない。 ある町会では、既に(有料化が)決まったような案内文を出していて、誤解を招いている。
	4	⑦古紙の回収について 金沢リサイクルニュース28年7月分(発行は市町連になっている)では「町会で古紙の回収を始めてみませんか」と呼びかけ、5町会の実施が7月末時点で11町会になっている。 小学校PTAの神経を逆撫でし、意欲をそぎ、横取りは止め、小学校PTAの回収していない段ボールや雑がみに変更するよう町会説明時に申し入れたが、全く取り合ってもらえない。※市の対応は誠に言行不一致で不信感極まりなし。
	2	ごみの量を減らすことが主な目的と考えられるが、袋の有料化の先にすべきことがあると考えられることから。
	4	ダンボール等資源化できるものが、燃やすごみとして出されているように見える。これらを資源化する方策をとればかなり減量できると思われる。
	2	金沢市は、議員の歳費は増やし本庁舎と南庁舎の廊下は5億円もかけて造る予定。議員や市の職員に優しく、市民に負担を強いる政策は理解できない。 ごみ有料化問題を機に金沢方式を見直したらどうか。
	3	10月11月の2か月で4町会が実施する予定。残り2町会は未定。
	4	金沢市民は税金の他に、金沢方式と呼ばれる仕組みで他の都市にはない負担をしている。この上、ごみの有料化をすればさらに市民の負担が増える。 市は金沢方式とごみ有料化は別だと言うが、収める市民の財布は同じ。金沢方式が他の都市にはないことを知らない市民がほとんどだと思う。金沢方式もごみ有料化と一緒に説明してほしい。この話を聞けばほとんどの市民は反対するのではないかと。 ごみ有料化を機に金沢方式を見直してはどうか。 有料化でごみの量が減るといっても、少子高齢化でごみの量は自然に減少する。 有料化を実施するにしても、最低限、所得の低い家庭は無料にすべきだし、ごみを出しにいけない人には戸別収集するなどの市民にメリットのある対策が必要である。